

事業所における自己評価結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和6年 2月 26日

事業所名：みずのき 吉野校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			*机の配置を常に検討し、スペースを確保するようにしております。	*運動をする際に十分なスペースを確保できるように室内の器具の配置等を常に見直しを行っている。学校休業日等は屋外での活動を積極的に取り入れ体を動かす時間を多く取れるようにしております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			*国が定める基準人員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		*出入口に柵が設置してあり段差がある。 *トイレの入口に段差については改修が困難なため、必要に応じて移動介助をしております。	*入口に飛出し防止の柵を設置しており、段差が生じているので、段差のないタイプの設置を検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			*年1回程度実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			*事業所ホームページにおいてこれまでの事業所自己評価を公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			*現段階では第三者評価を取り入れていない為、今後実施に向けて検討をしていきたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				*外部講師による療育支援についての事業所内研修を実施しました。 *研修については積極的に参加する機会をもうけておりますが、十分ではない資質向上のため、さらに研修参加できる体制と研修計画を構築して参りたいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				*生活の場面ごとの困りごとなど十分にアセスメントができていない部分があったので、ご利用児の持つ将来像や思いを十分に聞き取ることができるように定期的実施してまいります。
	#	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			*ご利用開始時に統一したアセスメント表を使用し、聞き取りを行っております。	
	#	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			*相談、共有を行い助言をもらいながら活動の立案を行っている。プログラムについては月単位で見直し、変更を行っております。	
	#	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			*季節ごとの行事と外出活動などを取り入れながら、活動プログラムを月毎に変更しております。	
	#	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			*通所時間が異なるため、その時に応じた活動設定を行っている。長期休暇については体験活動を多く取り入れる時間を設けるように努めております。	
	#	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			*利用児お一人お一人の特性に合わせて立案しております。	
	#	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				*行事等で日によってできないことがある為、朝礼時間を使い、確実に実施してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	#	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			*支援終了後に必ず毎日実施できていないことがあるので、当日に振り返りができていない時は翌朝の朝礼時に情報共有を行うようにしています。
	#	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			*一人ひとり、その日の様子を記録し、ミーティングで共有するようにしております。	
	#	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			*児童発達支援管理責任者を中心に行ない、各スタッフと情報共有し検討を行っております。	
	#	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	#	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	#	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			*毎月、事業所発行の広報誌と1ヶ月間の個別報告書を学校へお渡ししています。また、送迎時等に学校の先生方と情報交換を行っています。	*現在、必要に応じて学校の先生方に時間を設けて頂きお話を聞かせて頂く時間を取っています。定期的の実施できるように努めてまいります。
	#	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			*現在、医療的ケアが必要なお子様の利用はありませんが、受け入れを行う際は安心して通所して頂けるように配慮を行います。
	#	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	#	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			*現段階で障害福祉サービス事業所へ移行したケースはありませんが、今後、移行がある際は担当者会議を開催する等、情報共有してまいりたいと思います。
	#	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	#	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			*授業終了後は時間の確保が難しく十分にできていない部分がありますが、今年度は近隣の福祉館と合同イベントを開催し交流する機会を設けました。
	#	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		*研修会等への参加を心掛けております。	
	#	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			*送迎時に当日の状況などお伝えする様に心掛けておりますが、十分に時間を取ることができないことがある為、必要に応じてお電話やSNS等を活用し情報交換できるようにいたします。
	#	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			*令和5年度は外部講師をお招きし、ペアレント・トレーニングを開催し、参加の希望を取り、希望するご家族へ実施させて頂いた。今後も継続的に実施してまいりたいと思います。
	#	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			*利用契約時に重要事項説明書をもとに説明を行わせて頂いております。	
	#	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			*保護者様からの悩みを聞き、環境の違い（家と学校など）に気付き助言を行うようにしております。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	#	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		*今年度、初めての試みとして茶話会を開催いたしました。	*今回、事前のご案内が遅くなってしまったので多くの方に参加して頂けるようにご案内の仕方や時期を検討してまいります。
	#	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			*苦情解決責任者を配置し、苦情を受け付けた際はすぐに報告し改善するよう心がけております。	
	#	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			*毎月1回、広報誌を発行しております。	
	#	個人情報に十分注意しているか	○				
	#	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	#	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			*近隣の福祉館と合同でクリスマス会を実施いたしました。	*令和6年度は地域の方をお招きしたイベントを企画したいと思います。
非常時等の対応	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			*事業所内入口に各マニュアルをいつでも閲覧して頂けるように設置いたしております。	
	#	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			*年2回、非常災害発生を想定した避難訓練を実施しております。	
	#	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			*虐待防止委員を配置し、事業所内研修を実施しております。	
	#	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	#	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			*利用開始時に食物アレルギーの有無を確認しております。今後、対応が必要になった際は指示書に基づき対応を行ってまいります。
	#	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			*ヒヤリハットについて職員の気付きが十分にできていないので、ヒヤリハット事例を用いた事業所内研修などを積極的に実施してまいりたいと思います。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）